

I-O DATA

USB接続CCDカメラ

USB-CCD

取扱説明書

31906-02

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
 - 2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
 - 3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
 - 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
 - 5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
 - 6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
 - 7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
 - 8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
 - 9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
 - 10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関する設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
 - 11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
 - 12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
 - 13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
 - 14) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。
 - 15) お客様は、本製品または、その使用权を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
- I-0 DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
 - Microsoft, Windows, WindowsNT, MS, MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
 - Apple, Macintosh, Mac, Mac OSロゴおよびその商標は、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
 - その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

USB-CCD 取扱説明書

2001. May. 24 31906-02

発行 株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 1999-2001 I-O DATA DEVICE, INC. All rights reserved.

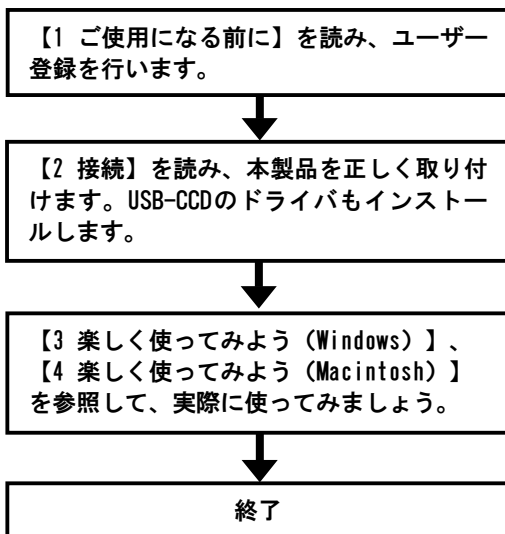
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

このたびは、USB接続CCDカメラ『USB-CCD』をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

■ 本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



■ 呼び方

呼び方	意味
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows Me/98	Windows MeおよびWindows 98の総称

はじめに

■ ハードウェア構成

本書では以下のようなドライブ構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

〈ドライブ構成〉



A : フロッピーディスク装置3.5インチ (1.44M/バイト/720K/バイト)

C : ハードディスク装置 (使用するOSがインストール済みで起動可能)

D : CD-ROMドライブ

はじめに..... i
 もくじ iii

1 ご使用になる前に..... 1

1 . 特徴 2
 2 . 箱を開けたら..... 4
 3 . 動作環境 6
 4 . 取り扱いおよび使用上の注意 7

2 接続..... 9

1 . 各部の名称と機能..... 10
 2 . 接続およびドライバのインストール ... 11
 接続..... 11
 インストール 13
 Windowsで使う場合..... 14
 Macintoshで使う場合..... 20

3 楽しく使ってみよう (Windows)23

1 . VideoRecorderのインストール 24
 2 . VideoRecorderの使用方法 25
 起動および操作方法..... 25
 各ボタンの機能概要..... 27
 映像の1シーンをキャプチャするには..... 30
 動画をAVIファイルとして保存するには..... 34
 VideoRecorderを削除するには 41

4 楽しく使ってみよう (Macintosh)43

- 1 . 「Holds Sight」の起動と終了 44
- 2 . 「Holds Sight」の使用方法 46
 - 静止画の取り込み方法 46
 - ムービーの取り込み方法 48

ふろく49

- 困った時には 50
- ハードウェア仕様 57

- サポートセンターへのお問い合わせ 58
- 保証について 59
- サポートソフトのバージョンアップ 60
- 修理について 61

1

ご使用になる前に

この章では、USB-CDDをご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。



1. 特徴

2ページ

本製品の特徴を説明します。



2. 箱を開けたら

4ページ

本製品の同梱構成品を確認し、ユーザー登録を行ってください。



3. 動作環境

6ページ

本製品の対応機種および対応OS等を説明します。



4. 取り扱いおよび使用上の注意 **7**ページ

本製品をご使用になる際の注意事項を確認し、正しいお取り扱いをお願いします。

1. 特徴

● 小型軽量

● スケルトンボディ採用

● USB接続機器ならではの簡単設定

USB接続ならではの電源ON時の取り付け、取り外しが自由。(PnP, Hot Plug対応) もちろん、一度セットアップしてしまえばその後の設定もありません。
(USB/ハブ接続の場合は、USB/ハブにACアダプタを接続する必要があります。)

● 25万画素1/4インチCCD採用の高画質

● データ圧縮コーデック内蔵によるフルモーションキャプチャ

データ転送レートによる制約も内蔵のハードウェアコーデック回路により大幅に改善。352×288ドットフルモーションキャプチャが可能です。
(動作環境により、若干数値の変動があります。)

● 640×480のステル（静止画）キャプチャ機能

● バスパワー電源供給

USBのバスパワーから電源を供給するので、ACアダプタは必要ありません。
持ち運びや、屋外などでの使用も楽々です。
(パソコン本体によっては十分な電源供給が行えない場合があります。)

● TWAIN対応

市販のTWAIN対応ソフトウェアで直接静止画を取り込むことができます。

- ビデオメールソフト「CyberLink Video Live Mail」添付
- ノンリニアビデオ編集ソフト「Ulead VideoStudio 5 SE Basic」添付
- Web最強レタッチソフト「Ulead PhotoImpact 6 SE」添付



注意!

上記の添付ソフト「CyberLink Video Live Mail」「Ulead VideoStudio 5 SE Basic」「Ulead PhotoImpact 6 SE」は、サービス品につき弊社ではサポートいたしかねます。添付されている「ごあんない」や「Ulead Systems お客様保管用カード」をご覧ください、各社にお問い合わせください。

2. 箱を開いたら

■ 内容のご確認

内容物	個数	備考
USB接続CCDカメラ	1台	USB-CCD
USB-CCD/CAPシリーズサポートソフトウェアディスク	1枚	CD-ROM
USB-CCD取扱説明書	1冊	本書
CyberLink Video Live Mail	1式	CD-ROM
Ulead VideoStudio 5 SE Basic	1式	CD-ROM
Ulead PhotoImpact 6 SE	1式	CD-ROM
USB-CCDマウント用スタンド	1台	
USB-CCDマウント用クリップ	1個	
マジックテープ	1組	
ハードウェア保証書	1枚	
ハードウェアシリアルNo. シール	1枚	
ユーザー登録カード	1枚	
『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

万が一、不足がございましたら弊社サポートセンターまでお知らせください。



注意！

箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

■ ユーザー登録について

1 「ハードウェアシリアルNo. シール」を所定の位置に貼ります。

添付のハードウェアシリアルNo. シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

2 ユーザー登録を行います。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の2通りがあります。いずれかの方法で登録を行ってください。

● オンライン登録 (<http://www.iodata.co.jp/regist/>)

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

上記のアドレスにある「オンラインユーザー登録」のフォームにて、ユーザー登録を行ってください。

オンライン登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

● ハガキ登録

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。



注意!

ハガキによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

3. 動作環境

ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

■ 対応機種

USBポート、CPU MMX Pentium166MHz以上、メモリ32Mバイト以上を搭載し、ハイカラー以上を表示可能な以下の機種

- ・ NEC PC98-NXシリーズ
- ・ DOS/Vマシン※

※ 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

- ・ Apple Macintoshシリーズ

■ 対応OS

Windows Me

Windows 98 (Second Edition含む)

Mac OS 8.6～9.1



注意！

- ・ 弊社製ビデオキャプチャツール USB-CAP をはじめ他のキャプチャ製品と同時に使用することはできません。
- ・ 本製品のみで音声を取り込むことはできません。(別途サウンドボード等のサウンド機能が必要です。)

4. 取り扱いおよび使用上の注意

- 本製品は精密機器です。落としたり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱いしてください。
- 本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電・動作不良の原因になります。
 - ・分解や改造などをしないでください。
 - ・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。
- USBハブに接続して使用する場合は、必ずUSBハブをセルフパワーにしておいてください。（USBハブにACアダプタを接続してください。）

MEMO

2

接続

この章では、USB-CCDをパソコン（またはUSBハブ）に接続する方法を説明します。



1. 各部の名称と機能

10ページ

本製品の各部の名称・機能を説明します。



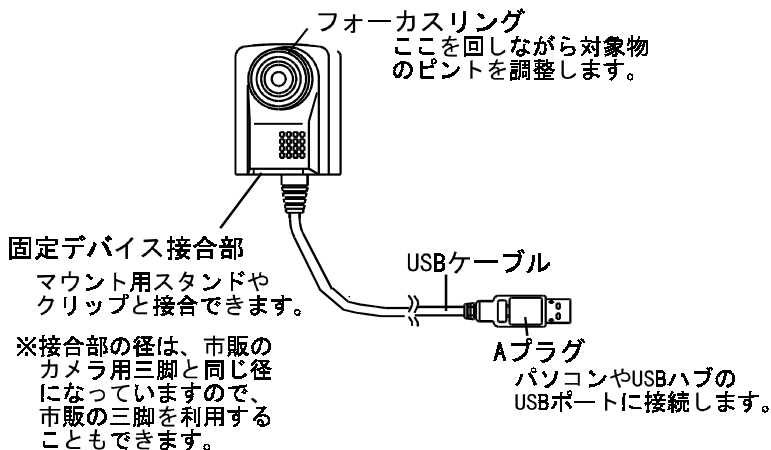
2. 接続およびドライバの

インストール **11**ページ

本製品とパソコン（またはUSBハブ）に接続する手順について説明します。また、その際パソコンに「USB-CCD/CAPシリーズサポートソフトウェア」内のドライバのインストール方法についても説明します。

1. 各部の名称と機能

USB-CCDカメラ本体

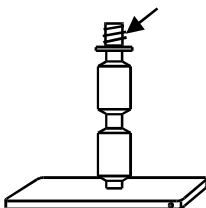


固定器具

① USB-CCDマウント用 スタンド

(水平な場所に設置できます。)

USB-CCDカメラ本体
の底面に接続します。

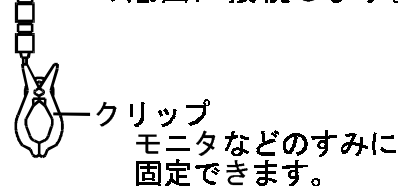


※付属のマジックテープをテーブルの底面に貼り付け、任意の場所に固定することもできます。

② USB-CCDマウント用 クリップ

(モニタなどのすみに固定できます。)

USB-CCDカメラ本体
の底面に接続します。



2. 接続およびドライバのインストール

ここでは、USB-CCDとパソコン（またはUSBハブ）および映像機器の接続方法について説明します。

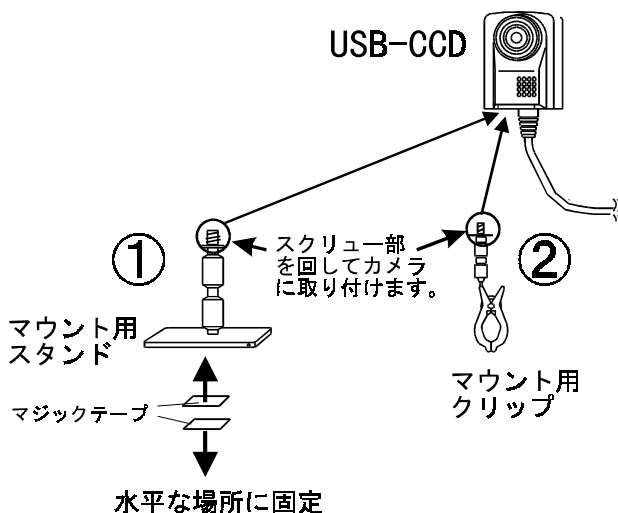
接続

USB-CCDを設置します。

設置用にスタンドとクリップを2種類用意しております。

設置場所に合わせてお使いください。

- ① 「USB-CCDマウント用スタンド」で水平な場所に設置できます。
なお、スタンド使用時に安定しない場合は、付属のマジックテープにて固定してください。
- ② 「USB-CCDマウント用クリップ」でノートパソコンなどに取り付けることもできます。



2. 接続およびドライバのインストール



注意！

マウント用クリップを、ノートパソコンなどの液晶パネルに直接はさむと液晶パネルの破損をまねく恐れがあります。取り付け場所はご注意ください。



参考

スタンド、クリップのスクリューの径は、市販の三脚と同等となっていますので、市販の三脚もご利用いただけます。

設置場所の明るさについて

USB-CCDは、20ルクスからの明るさで自動的に調整します。使用上での最適な明るさは、500～1000ルクスです。



注意！

USB-CCD を直接、光源（明るい窓、電灯、太陽光等）に向けしないでください。また、後ろに光源のある場所での映像は正しく映りません。例えば後ろに明るい窓がある場合には、対象物が影のような状態となります。

<明るさのレベル>

- 40 ルクス……地下駐車場
- 100 ルクス……ホテルのロビー
- 500 ルクス……会議室
- 1000 ルクス……オフィスの机上
- 5000 ルクス……曇りの日の屋外
- 10000 ルクス……快晴の日の木陰

インストール

次に、USB-CCDをパソコンに認識させるために、「USB-CCD/CAPシリーズサポートソフトウェアディスク」からドライバをインストールします。（この作業は、一度で結構です。）インストール作業は、ご使用になるパソコンや、これまでのご使用状況により異なります。下記に従って必要な箇所をご参照ください。



注意!

すでに USB-CAP、USB-CAP2 をお使いの場合は、予め各取扱説明書をご覧の上、USB-CAP、USB-CAP2 のドライバを削除してください。

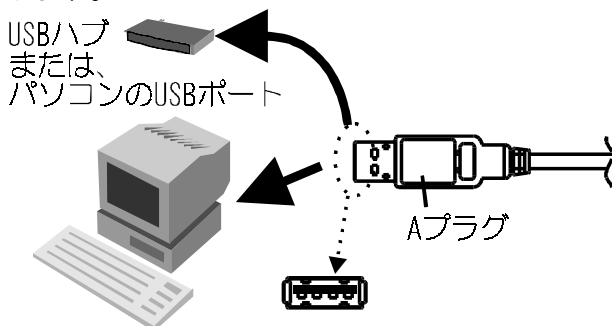
USB-CCD の旧バージョンが入っている場合も同様に削除してください。

Windowsで使う → 次ページ

Macintoshで使う → 20ページ

Windowsで使う場合

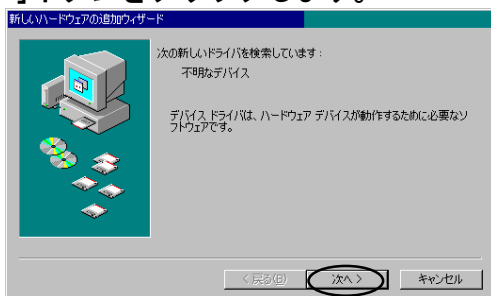
- 1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
- 2 USB-CCDのAプラグをパソコン（またはUSBハブ）のUSBポートに接続します。



注意!

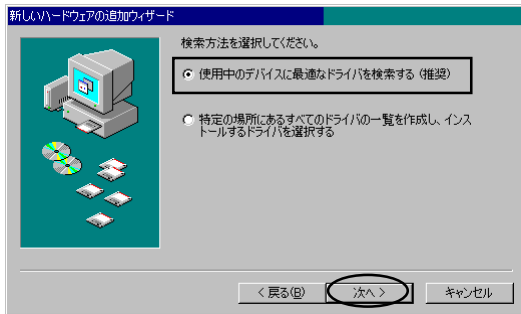
USB ハブに接続する場合は、必ず USB ハブに AC アダプタを取り付けてから USB-CCD を接続してください。

- 3 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。



(表示されない場合は【困ったときには】の「USB-CCDが検出されない」(52ページ)を参照してください。)

- 4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



- 5 「USB-CCD/CAPシリーズサポートソフトウェアディスク」をCD-ROMドライブにセットします。

- 6 「CD-ROMドライブ」をチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。



- 7 「USB-CCD/CAPシリーズサポートソフトウェアディスク」をCD-ROMドライブから取り出します。

2. 接続およびドライバのインストール

8 画面の指示に従い、いったんWindowsを再起動します。

以上で接続およびドライバのインストールは終了です。

次ページを参照してドライバが正常にインストールされたか確認してください。



注意！

いったんインストールが正常に終了すれば、Windows 使用中に USB-CCD を USB ポートから抜き差しして使用することができます。(キャプチャ中の抜き差しは行わないでください。)ただし、インストール時に使用していた USB ポート以外の USB ポートに接続した場合は、再度インストールが必要となります。再インストール後は、必ずパソコンを再起動してください。

接続終了後の確認 (Windows)

ここではUSB-CCDがWindowsで正常に認識されているかを確認します。

- ①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[システム]アイコンをダブルクリックしてください。
- ②[システムのプロパティ]画面の[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
[イメージングデバイス]をダブルクリックし、[I-O DATA USB-CCDビデオキャプチャ]が表示(認識)されていることを確認してください。
また、頭に！マークや？マークが付いていないことも確認してください。



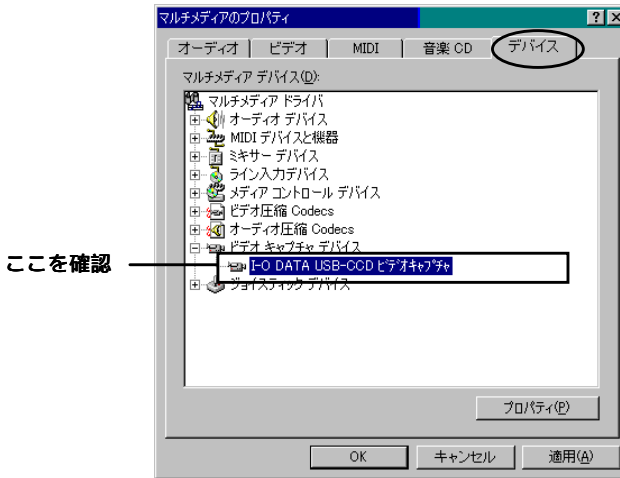
注意！

！マークや？マークがついている場合は正常に認識されていません。【困った時には】(54 ページ)を参照してください。

- ③次に[コントロールパネル]内の[マルチメディア]アイコンをダブルクリックしてください。

2. 接続およびドライバのインストール

- ④[マルチメディアのプロパティ]画面の[デバイス]タブをクリックします。
[ビデオキャプチャデバイス]をダブルクリックし、[I-O DATA USB-CCDビデオキャプチャ]が表示(認識)されていることを確認してください。



正常に表示されていることが確認されたら、【3 楽しく使ってみよう (Windows)】(23 ページ)を参照して、「I-O DATA VideoRecorder」のインストールを行ってください。

※ 他のビデオキャプチャデバイスがある場合は、以下の様にプロパティ画面を開き(そのビデオキャプチャデバイスをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリック) 使用しないにチェックするか、削除してください。



インストールされた情報の削除（Windows）

ここでは、Windowsにインストールされたドライバ情報を削除する（アンインストール）方法を説明します。

【接続終了後の確認（Windows）】（17ページ）にて正常に表示されない場合や、動作がおかしい場合は、以下を実行してインストール情報を削除してください。次に【接続】（11ページ）を参照し、もう一度インストールし直してください。

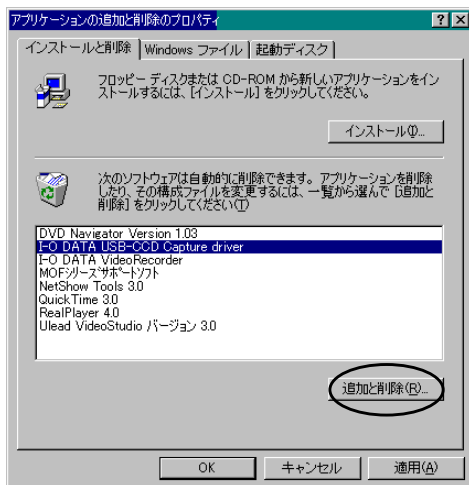
1 USB-CCDをUSBポートから取り外します。

2 [アプリケーションの追加と削除]を起動します。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックしてください。

3 USB-CCDのドライバを削除します。

[I-O DATA USB-CCD Capture driver]をクリックし、[追加と削除] ボタンをクリックしてください。



後は画面の指示にしたがってください。

以上で、インストール情報の削除（アンインストール）は終了です。

2. 接続およびドライバのインストール

Macintoshで使う場合

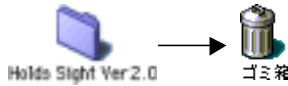
- 1 「USB-CCD/CAPシリーズサポートソフトウェアディスク」をCD-ROMドライブにセットします。**
- 2 CD-ROM内の「Holds Sight Installer」をダブルクリックします。**
- 3 画面の指示に従ってインストールします。**
USB-CCD用ドライバと、キャプチャソフト「Holds Sight」がインストールされます。
- 4 システムを起動します。**
インストールが終了したら、システムが自動的に再起動します。

次は、【4 楽しく使ってみよう (Macintosh)】(43ページ)を参照し、実際に使ってみてください。

「Holds Sight」を削除 (Macintosh)

1 [Holds Sight Ver2.0] フォルダを削除します。

デスクトップ上にある [Holds Sight Ver2.0] フォルダをごみ箱に捨てます。



注意!

USB-CCD や USB-CAP の Holds Sight を削除する場合は、[USB-CCD、USB-CAP Holds Sight] フォルダを削除してください。

2 [システムフォルダ] を開きます。

Mac OSがインストールされているドライブにある [システムフォルダ] をダブルクリックし、開きます。

この中に [機能拡張]、[初期設定] があります。

3 [機能拡張] 内の関連ファイルを削除します。

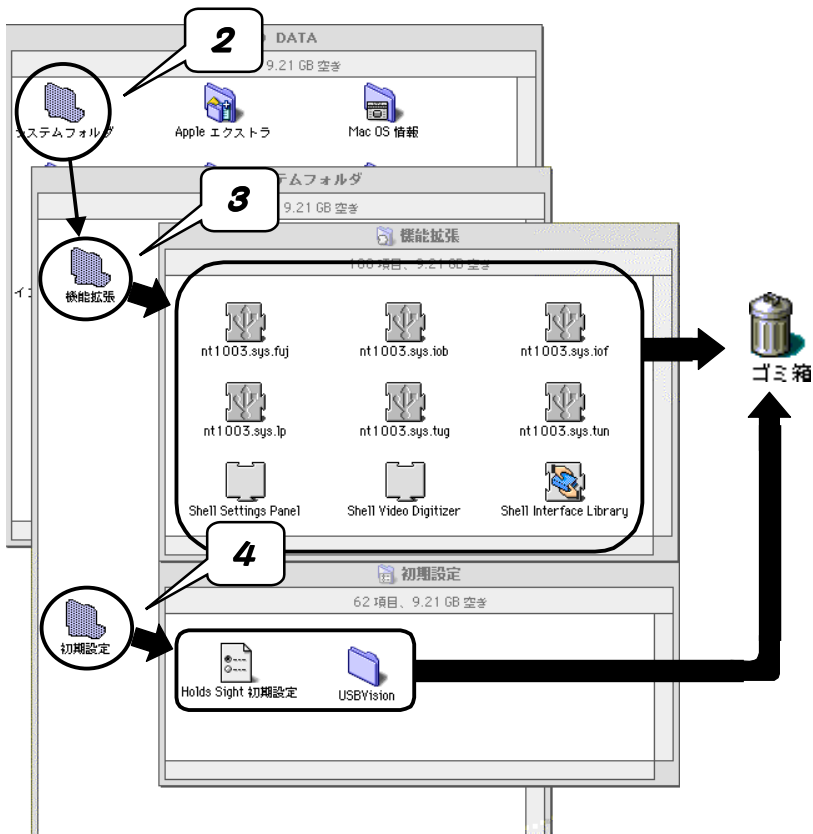
下記のファイルをごみ箱に捨てます。

- ・Shell Settings Panel
- ・Shell Video Digitizer
- ・Shell Interface Library
- ・名前に [NT1003.SYS] と付いたファイル全て
(捨てるファイルの数は、以前にご使用の製品によって異なります。)

4 [初期設定] 内の関連ファイルを削除します。

[Holds Sight初期設定]、[USBVision] フォルダをごみ箱に捨てます。

2. 接続およびドライバのインストール



5 ゴミ箱を空にし、パソコンを再起動します。

[特別]メニューから[ゴミ箱を空に...]をクリックし、その後同様に[再起動]をクリックします。

3

楽しく使ってみよう

(Windows)

この章では、Windows上でキャプチャするソフト（I-O DATA VideoRecorder）のインストール方法および使用方法について説明します。

このソフトを使えば、USB-CCDに接続した映像機器の映像を動画（AVIファイル）や静止画（BMPファイル）としてパソコンに保存することができます。



注意！

付属のビデオメールソフト「CyberLink Video Live Mail」、ノンリニアビデオ編集ソフト「Ulead VideoStudio 5 SE Basic」およびレタッチソフト「Ulead PhotoImpact 6 SE」は、サービス品につき弊社ではサポートいたしかねます。

添付されている「ごあんない」や「Ulead Systems お客様保管用カード」をご覧ください、各社にお問い合わせください。



1. VideoRecorderのインストール **24**ページ

VideoRecorderのインストール方法について説明します。



2. VideoRecorderの使用方法 **25**ページ

VideoRecorderの使用方法について説明します。

1. VideoRecorderのインストール

- 1 「USB-CCD/CAPシリーズサポートソフトウェアディスク」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 「USB-CCD/CAPシリーズサポートソフトウェアディスク」内のSETUP.EXEを起動します。

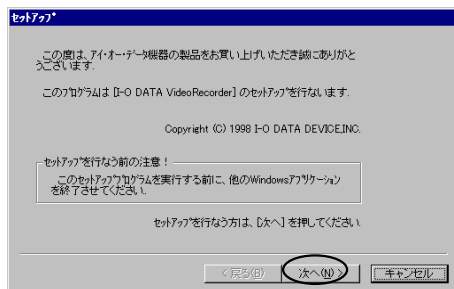
[スタート]→[ファイル名を指定して実行]画面で、

D:\¥setup (CD-ROMドライブがDドライブの場合)
と入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。

- 3 [次へ] ボタンをクリックします。



- 4 [次へ] ボタンをクリックします。



後は画面の指示に従ってください。
以上でインストールは終了です。

2. VideoRecorderの使用方法

起動および操作方法

《起動する》

[スタート]→[プログラム]→[I-O DATA VideoRecorder]の[I-O DATA VideoRecorder]をクリックします。

VideoRecorder（「ディスプレイウィンドウ」と「コントロールウィンドウ」）が表示されます。



《映像を表示させる》

通常、USB-CCDをパソコンに接続するだけで「ディスプレイウィンドウ」にUSB-CCDで取り込んでいる映像が表示されます。

ディスプレイウィンドウ



注意!

「ディスプレイウィンドウ」に映像が表示されない場合は、USB-CCDの取り付け等が正しくないことが考えられます。詳細は、【困った時には】(51ページ)を参照してください。

USB-CCDの設定

- ① カメラを表示したい対象物に合わせます。
- ② 対象物の位置と大きさを、キャプチャ画面で確認しながら上下左右をカメラで調整します。
- ③ 対象物のピントをUSB-CCDのフォーカスリングを回しながら合わせてください。最小のフォーカス位置は0mmです。
(ただし、20ルクス以上の被写体照度が必要です。)

最適な明るさでのイメージ



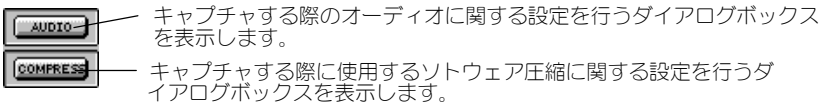
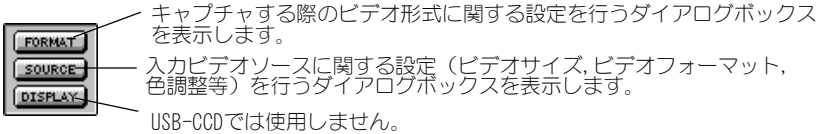
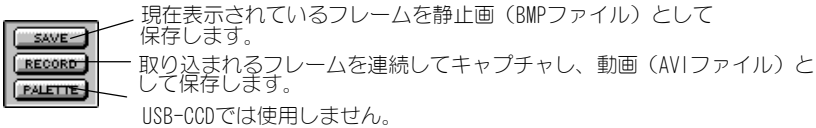
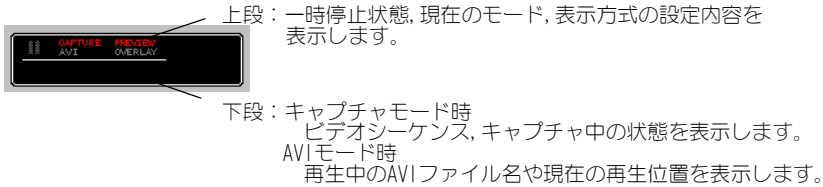
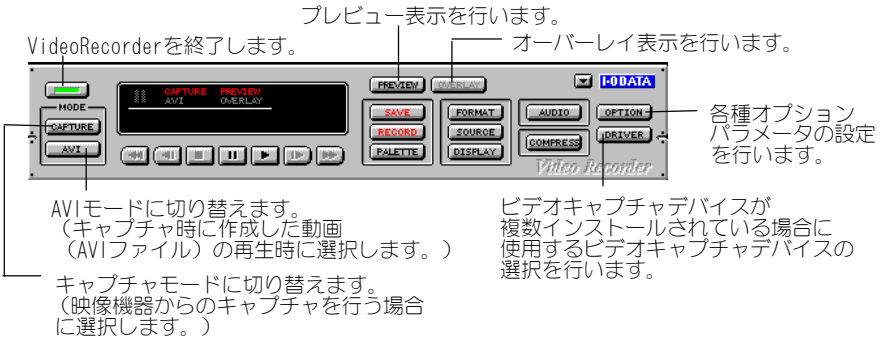
バックライトで損なわれたイメージ



注意：

USB-CCDを直接、光源（明るい窓、電灯、太陽光等）に向けしないでください。また、後ろに光源のある場所での映像は正しく映りません。例えば後ろに明るい窓がある場合には、上記右のような対象物が影のような状態となります。

各ボタンの機能概要



2. VideoRecorderの使用方法

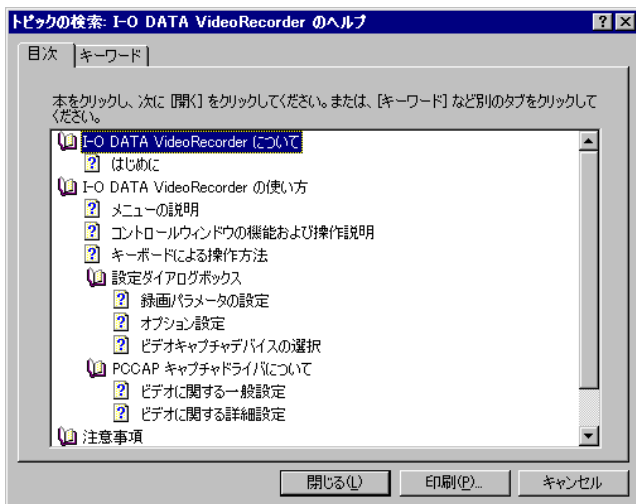


注意!

- ・ ボタン操作中にディスプレイウィンドウが表示されなくなった場合は、[CAPTURE] ボタンをクリックしてください。
- ・ 各ボタンの機能の詳細およびショートカットキーについては、ヘルプをご覧ください。(以下参照)

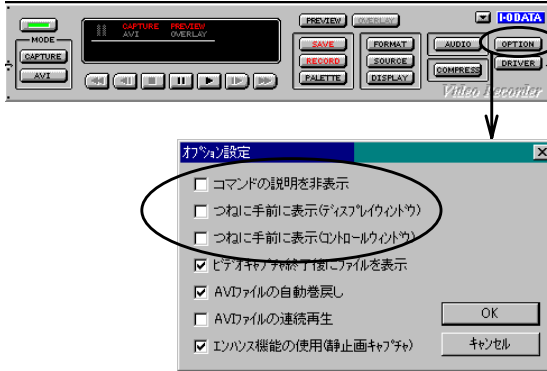
ヘルプ画面

[スタート]→[プログラム]→[I-O DATA VideoRecorder]の[I-O DATA VideoRecorderのヘルプ]でヘルプが起動します。



ウィンドウの表示位置

OPTION でディスプレイウィンドウ、コントロールウィンドウの表示位置等を設定できます。



キャプチャするドライバの選択

DRIVER でキャプチャデバイスが複数登録されている場合に、「I-O DATA USB-CCDビデオキャプチャ」を選択できます。

※ USB-CCDは「I-O DATA USB-CCDビデオキャプチャ」以外では動作しません。



2. VideoRecorderの使用方法

映像の1シーンをキャプチャするには

USB-CCDの映像の1シーンをキャプチャし（取り込み）、その静止画をビットマップ（BMP）ファイルとして保存することができます。

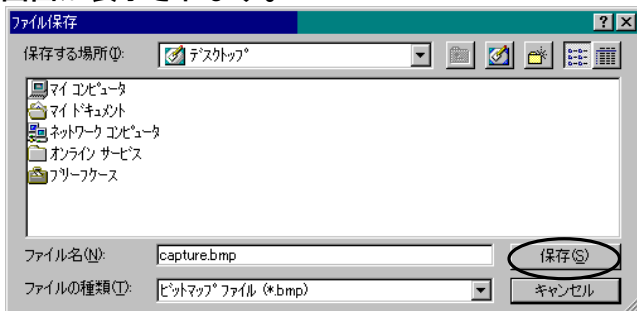
（BMP形式以外では保存できません。）



映像を停止させます。

停止したシーンをファイルに保存します。

- 1 ディスプレイウィンドウにお好みの映像を表示させ、取り込みたいシーンで **||** をクリックし、映像を一時停止します。
- 2 **SAVE** ボタンをクリックします。
- 3 以下の画面が表示されます。



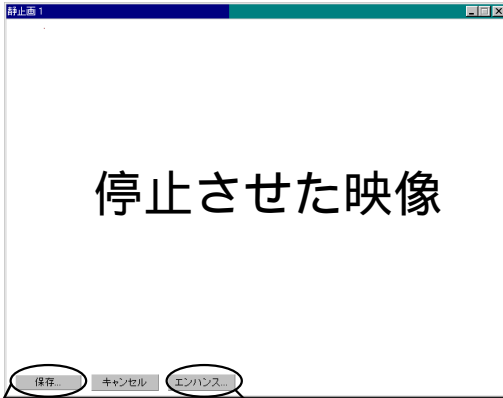
保存する場所、ファイル名を確認または変更後、[保存] ボタンをクリックすれば、そのシーンをビットマップファイルとして保存することができます。

（上記画面例ではデスクトップ上にCAPTURE. BMPとして保存されます。）



注意!

OPTION での「オプション設定」画面で [エンハンス機能の使用] をチェックした場合は、手順**3**で以下の画面が表示されます。（「エンハンス機能」については33ページの【注意】参照）

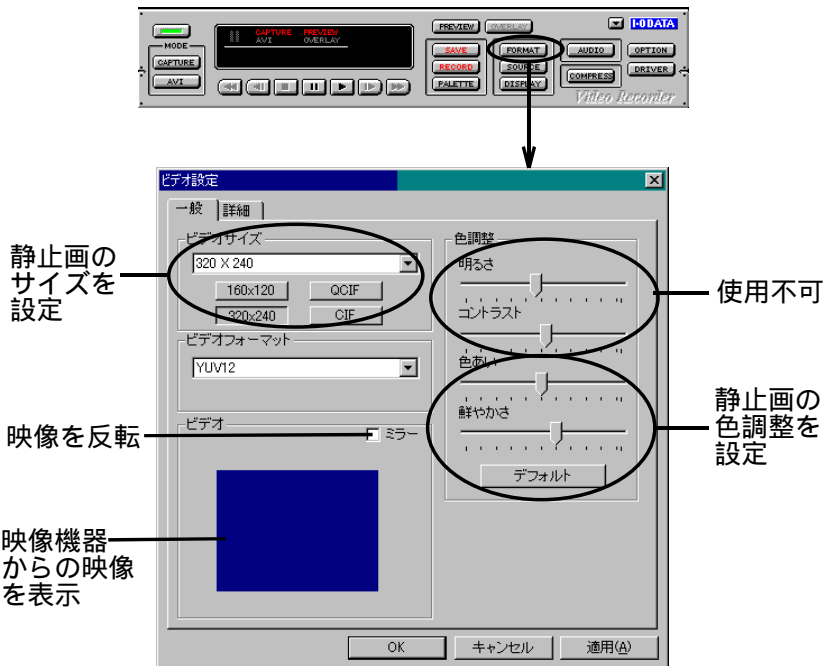


640×480サイズで保存する場合にクリックします。
この後、手順**3**の画面が表示されます。

更に修正(補正)してよりきれいな映像で保存する場合にクリックします。
この後、[保存]で手順**3**の画面が表示されます。

取り込む静止画のサイズ・色調整

FORMAT で取り込む静止画のサイズ・色調整を設定しておけば、設定したサイズ・色でファイルに保存することができます。

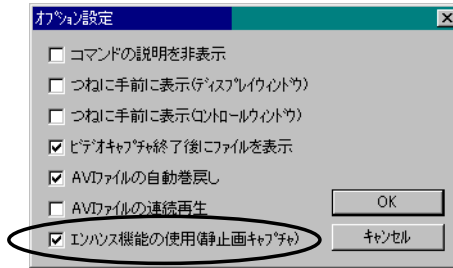


ビデオサイズ、色調整、ミラー以外の設定は、静止画の設定時には必要ありません。
また、上記の設定は動画の設定(37ページ)にも反映されます。



注意！

コマンドウィンドウの **OPTION** での「オプション設定」画面で [エンハンス機能の使用] をチェックした場合は、640×480 で保存することができます。



エンハンス機能を使用すれば、キャプチャした静止画を修正（補正）してよりきれいな映像で取り込むことができます。（サイズは640×480固定です。）

2. VideoRecorderの使用方法

動画をAVIファイルとして保存するには

表示した動画をAVIファイルにしたり、1コマ単位でファイルに保存したりすることができます。

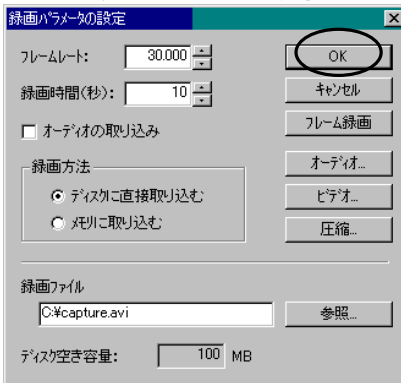
(AVI形式以外では保存できません。)



動画をAVIファイルに保存します。

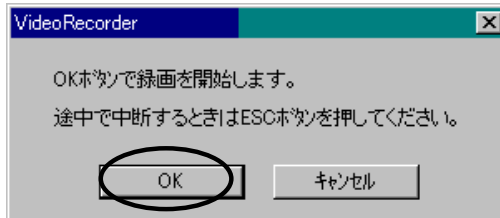
1 **RECORD** ボタンをクリックします。

(設定の詳細は36ページ以降参照)



「録画時間」、「録画ファイル」等の設定を行い、[OK]ボタンをクリックすれば準備完了です。

2 取り込みたいシーンがきたら[OK]ボタンをクリックします。



設定した時間だけAVIファイルとして保存されます。



注意!

- ・書き込み準備のため、取り込み開始までに若干時間を要する場合があります。
- ・AVIファイルを作成する場合、「キャプチャ時間」等によりAVIファイルのサイズが非常に大きくなる場合があります。ディスクの空き容量が充分にあることを確認し、作成を行ってください。作成中にディスクが一杯になった場合、ファイルが正常に作成されない場合があります。
- ・2Gバイト以上のAVIファイルは作成できません。
- ・圧縮して作成したAVIファイルを他のパソコン等で再生する場合には、同じ圧縮プログラム(CODECプログラム)で再生させる必要があります。
(圧縮プログラムの設定は、**COMPRESS** ボタンで設定できます。詳細は【圧縮プログラムの設定】39ページ参照)

※ 動画ファイルサイズについて

非圧縮時の動画ファイルのサイズは、基本的に

画像の縦の長さ(ドット数) × 画像の横の長さ(ドット数) ×
色数(ビット数) × フレームレート × 秒数

になります。(コマ落ちなどでサイズは変動します。)

例) 縦×横 = 320 × 240、色数 = 16ビット、

フレームレート = 30、秒数 = 10秒

の場合、 $320 \times 240 \times 2 \times 30 \times 10 = \text{約}44\text{M}$ バイト

圧縮プログラムを使用した場合のサイズ(AVIファイルのサイズ等)は、そのプログラムや圧縮するデータおよび環境により、上記サイズの数分の1になったりしますが、正確なサイズを得ることはできません。

上記のサイズは、あくまで目安として考えてください。

取り込む動画・AVIファイルの各種設定

取り込む動画をAVIファイルに保存する場合、**RECORD** で各種設定ができます。

1秒間に取り込む
フレーム数を指定します。

録画する時間の最大値を
設定します。

音声を同時に取り込む場合
にチェックします。

ビデオシーケンスを直接
ディスクに取り込みます。

ビデオシーケンスをメモ
リに取り込んだ後、ディ
スクに取り込みます。

保存するAVIファイル名で
す。

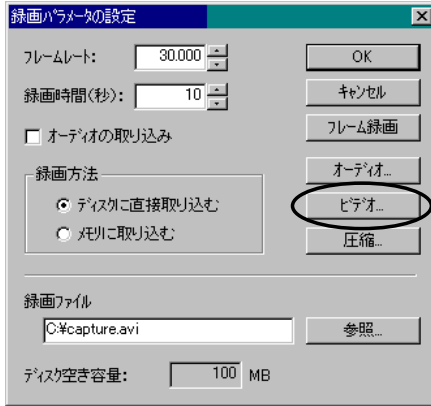
現在のディスクの空き容
量です。



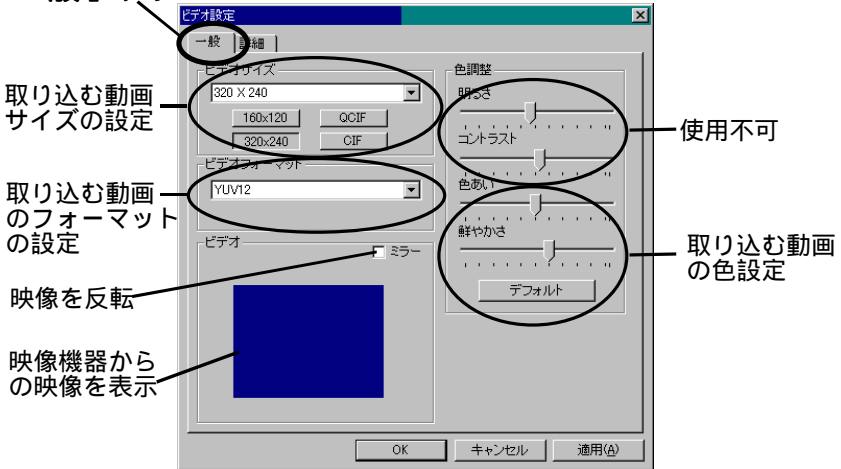
取り込む動画の詳細設定

ビデオ... をクリックすれば、取り込む動画の詳細な設定ができます。

(コントロールウィンドウの **FORMAT** からでも設定できます。)



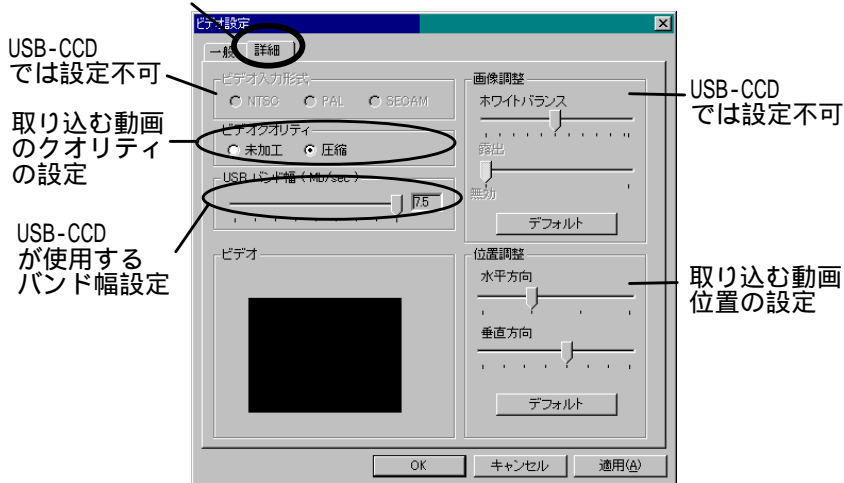
「一般」タブ



上記の設定は静止画の設定 (32ページ) にも反映されます。

2. VideoRecorderの使用方法

「詳細」タブ



「ビデオクオリティ」

通常「圧縮」設定のまま変更する必要はありません。

（「圧縮」はUSB-CCD内蔵のハードウェアコーデック※を使用する場合、「未加工」は使用しない場合の設定です。「未加工」にするとコマ落ちが発生する場合があります。）

※ ハードウェアコーデック

USB-CCDハードウェア内部の動画取込転送時の圧縮機能です。

次ページ「圧縮プログラム」（ソフトウェアによる取り込んだデータの圧縮）とは無関係です。

「USBバンド幅」

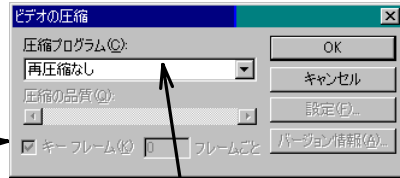
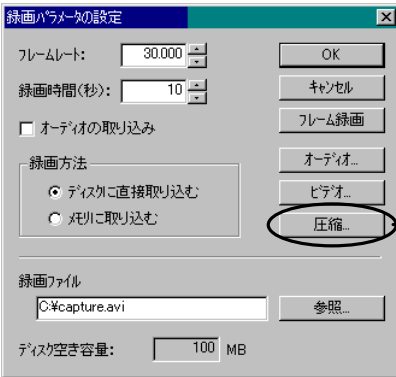
USBポートが使用できるバンド幅（1ポートにつき最大12Mバイト/秒）内のUSB-CCDがキャプチャ時に使用するバンド幅を設定します。

小さくするとコマ落ちが発生する場合があります。

圧縮プログラムの設定

圧縮... をクリックすれば、**圧縮プログラム (CODECプログラム)** の設定ができます。

(コントロールウィンドウの **COMPRESS** からでも設定できます。)



圧縮プログラムを選択できます。

「圧縮プログラム」について

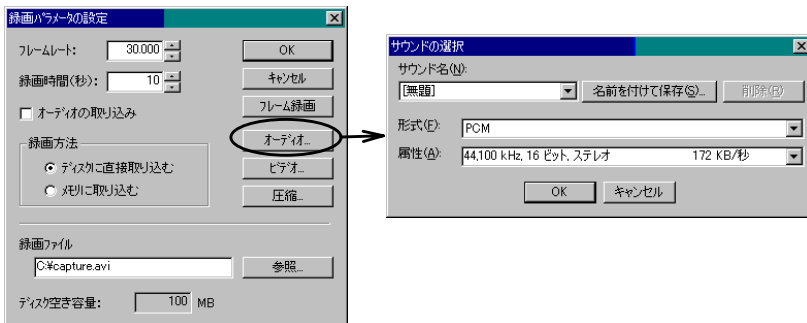
- ・表示される圧縮プログラム (CODECプログラム) は、お客様のご使用環境により異なります。
- ・各圧縮プログラムではそれぞれ独自的方式でデータの圧縮を行います。圧縮すればデータをコンパクトに納めることができますが、他の環境で再生させるには、同じ圧縮プログラムで再生させる必要があります。

2. VideoRecorderの使用方法

音声（オーディオ）の取り込みの設定

オーディオ... をクリックすれば、音声（オーディオ）の取り込みの設定ができます。

（コントロールウィンドウの **AUDIO** からでも設定できます。）

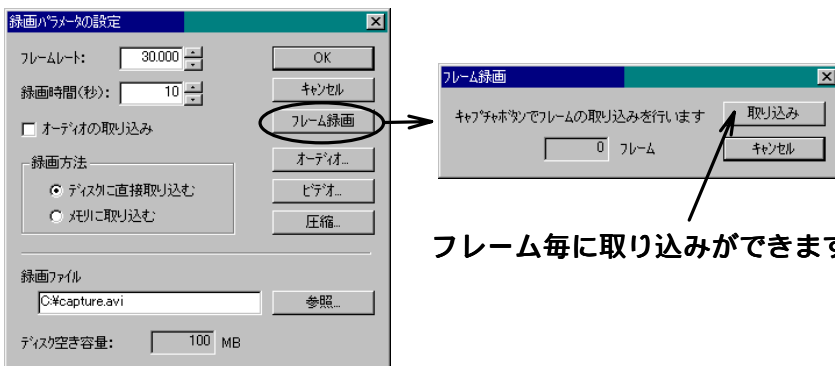


注意！

別途、録音可能なサウンドボードが必要です。また、設定内容はサウンドボード側に依存します。

フレーム毎に手動でキャプチャ

フレーム録画 をクリックすれば、フレーム毎に手動でキャプチャできます。



フレーム毎に取り込みができます。

VideoRecorderを削除するには

ここでは、VideoRecorderを削除する（アンインストール）方法を説明します。

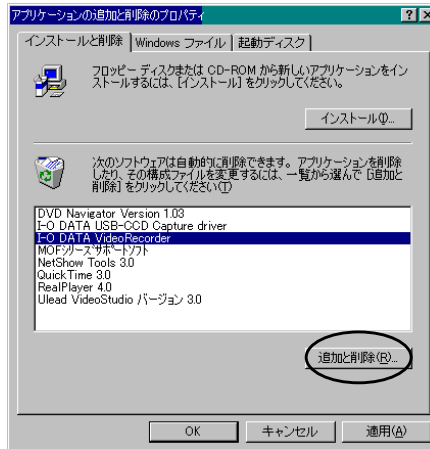
1 [アプリケーションの追加と削除]を起動します。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックしてください。

2 「USB-CCD/CAPシリーズサポートソフトウェアディスク」をCD-ROMドライブにセットします。

3 VideoRecorderを削除します。

[I-O DATA VideoRecorder]をクリックし、[追加と削除] ボタンをクリックしてください。



後は画面の指示にしたがってください。削除後、「USB-CCD/CAPシリーズサポートソフトウェアディスク」を取り出してください。

以上で、VideoRecorderの削除（アンインストール）は終了です。

MEMO

4

楽しく使ってみよう (Macintosh)

この章では、Macintosh上のソフト「Holds Sight」で、静止画、ムービーの取り込みを行う方法を説明しています。



1. 「Holds Sight」の起動と終了 **44**ページ

静止画やムービーの取り込みは「Holds Sight」で行います。



2. 「Holds Sight」の使用方法 **46**ページ

実際に静止画や、ムービーを取り込んでみましょう。

1. 「Holds Sight」の起動と終了

《起動する》

1 本製品をUSBポートに接続します。



注意！

- ・電源容量の制限により、キーボードのUSBポートに接続して、使用することはできません。ご注意ください。
- ・USBハブに接続する際は、USBハブに付属のACアダプタをご使用ください。

2 [Holds Sight]アイコンをダブルクリックします。

デスクトップ上の[Holds Sight Ver2.0]フォルダ内の[Holds Sight]アイコンをダブルクリックします。

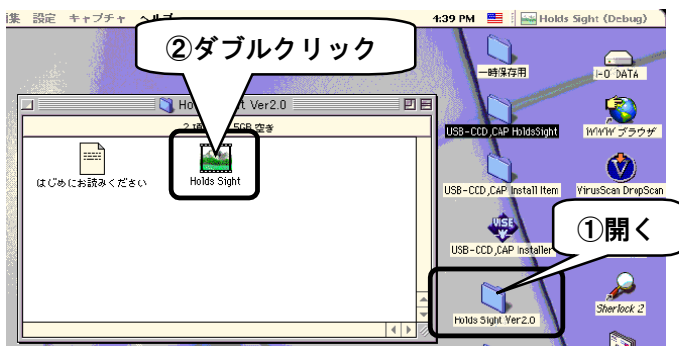
Holds Sightが起動します。



注意！

[Holds Sight Ver2.0]フォルダの場所

[Holds Sight Ver2.0]フォルダは、インストール作業時に指定した場所にあります。設定を変更しなかった場合は、デスクトップ上にあります。



《終了する》

[ファイル]メニューの[終了]をクリックします。

2. 「Holds Sight」の使用方法

静止画の取り込み方法

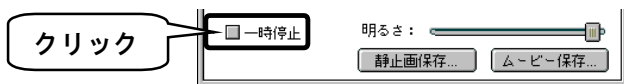
静止画をP10T形式（解像度320×240、24bit フルカラー）で取り込みます。

※ サイズ、カラーの変更はできません。

1 取り込みたい場所で【一時停止】をクリックします。

取り込みたい場面になったら【一時停止】をクリックします。

取り込みたい場面で止まらなかった場合は、やり直してください。

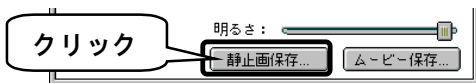


注意！

【一時停止】をクリックしてから、少し遅れて停止します。

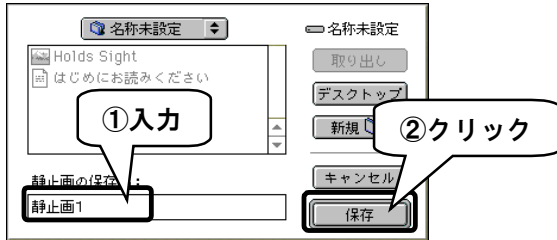
これは仕様であり、異常ではありません。予めご了承ください。

2 【静止画保存】ボタンをクリックします。



3 保存するファイル名を入力します。

保存するフォルダを選択し、[静止画の保存名]にファイル名を入力します。入力が終わったら、[保存]ボタンをクリックします。



これで静止画が取り込まれました。

2. 「Holds Sight」の使用方法

ムービーの取り込み方法

動画をQuickTime形式（解像度320×240、24bit フルカラー）で取り込みます。

※ サイズ、カラーの変更はできません。

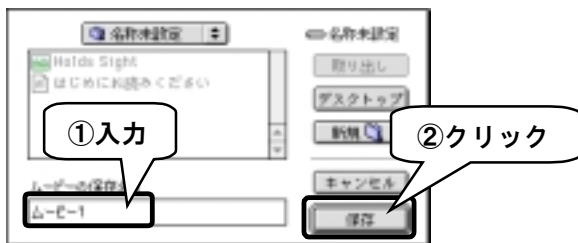
1 [ムービー保存]ボタンをクリックします。



2 保存するファイル名を入力します。

保存するフォルダを選択し、[ムービーの保存名]にファイル名を入力します。入力が終わったら、[保存]ボタンをクリックします。

[保存]ボタンをクリックした時点からキャプチャが始まります。



3 キャプチャを終了したいところでクリックします。

どこでも好きなところをクリックした時点でキャプチャを終了します。

最大2G/バイト（約6分）までキャプチャ可能です。

4 これで[保存]ボタンをクリックした時点からもう一度クリックするまでがムービーとして保存されました。

目次



困った時には

50ページ

不具合があった場合にご覧ください。



ハードウェア仕様

57ページ

困った時には

状態	参照ページ
映像ウィンドウは表示されるが、映像が表示されない (画面全体が単色(青色や黒色等)表示の状態)	51
保存した画像ファイルを他のアプリケーションで表示させたら、モノクロに近い画像になっている、または、色が荒い	51
USB-CCDが検出されない	52
ディスプレイウィンドウの画面が止まってしまう	52
動画キャプチャ中に画面が止まってしまう	52
キャプチャファイルにコマ落ちが発生する	52
キャプチャがうまくできない	53
デバイスマネージャで「I-O DATA USB-CCD ビデオキャプチャ」の頭に！マークや？マークが付いている	54
画面の表示がぎこちない(コマ落ちする)	55
音声を取り込めない	55

**映像ウィンドウは表示されるが、映像が表示されない
(画面全体が単色(青色や黒色等)表示の状態)**

原因1

パソコン本体のUSBコントローラが正常にデバイスを認識しなかった。

対処

USB-CCDのUSBケーブルのAプラグをUSBポートから一度抜き差ししてみてください。

原因2

USB-CCDが正しく取り付けられていない。

対処

USB-CCDが確実に装着されているか、接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。(11ページ参照)

原因3

以前に別のキャプチャデバイスをインストールした。

対処

Windowsを「Safeモード」で起動し、デバイスマネージャでそのデバイスを削除してください。

(「Safeモード」は、Windowsが起動する際に[Ctrl]キーを押し「Safeモード」を選択すれば「Safeモード」で起動します。)

原因4

バスパワーハブに接続している。

対処

パソコン本体または、セルフパワーハブに接続し直してください。

保存した画像ファイルを他のアプリケーションで表示させたら、モノクロに近い画像になっている、または、色が荒い

原因

そのアプリケーションがフルカラー対応でない。

対処

保存した画像ファイルがフルカラー形式のとき、フルカラー対応でないアプリケーションではきれいに表示されません。

ハイカラー(32,768色)ではかなりきれいに表示できますが、16色対応の場合はモノクロに近い画像になり、256色対応の場合は色が荒く感じられます。

困った時には

USB-CCDが検出されない

原因

誤認識されている可能性があります。

対処

USB-CCDをパソコンに接続し直してください。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]アイコンをダブルクリック→[デバイスマネージャ]タブをクリックしてください。

一覧に[その他のデバイス]その下に[不明なデバイス]が表示されている場合は、[不明なデバイス]を削除してください。

その後、USB-CCDを取り外し、【接続】(11ページ)を参照してインストールを行ってください。

ディスプレイウィンドウの画面が止まってしまう

対処

グラフィックアクセラレータのハードウェアアクセラレーションを「しない」（無効）に設定してみてください。

<設定方法>

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[画面]アイコンをダブルクリックします。[画面のプロパティ]の[設定]タブをクリックし、[詳細]ボタンでの[パフォーマンス]タブをクリックして設定してください。

動画キャプチャ中に画面が止まってしまう

原因

オーバーレイになっている。

対処

オーバーレイに設定して動画をキャプチャすると画面が止まります。

画面を見ながらキャプチャする場合は、プレビューに設定してください。

キャプチャファイルにコマ落ちが発生する

原因

USB-CCDのUSBバンド幅が小さい。

対処

USBバンド幅を大きくしてみてください。(38ページ参照)

キャプチャがうまくできない

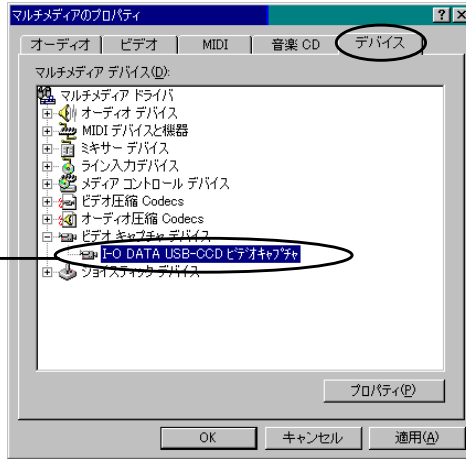
原因

ビデオキャプチャデバイスが2つ以上登録されている。

対処

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[マルチメディア]アイコンをダブルクリックしてください。[デバイス]タブでの[ビデオキャプチャデバイス]に2つ以上のデバイスが登録されていないか確認してください。

ここに2つ以上のデバイスが登録されていないか確認



※ 他のビデオキャプチャデバイスがある場合は、以下の様にプロパティ画面を開き（そのビデオキャプチャデバイスをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリック）使用しないにチェックするか、削除してください。

使用しない設定



削除する場合

困った時には

デバイスマネージャで「I-O DATA USB-CCD ビデオキャプチャ」の頭に！マークや？マークが付いている

原因1

インストールが正常にされていない可能性があります。

対処

【インストールされた情報の削除】(19ページ)でUSB-CCDのドライバをいったん削除してください。その後で、再度【接続】(11ページ)でUSB-CCDのドライバをインストールしてみてください。

原因2

USB-CAPがインストールされている。

対処

USB-CCDとUSB-CAPは同時に1台のパソコンで使用することはできません。USB-CAPのドライバをアンインストールし（『USB-CAP取扱説明書』参照）、USB-CCDのドライバをアンインストール後（【インストールされた情報の削除】19ページ参照）、再度USB-CCDをインストール（【接続】11ページ参照）してください。

原因3

複数のUSB-CCDを同時に使用している。

対処

複数のUSB-CCDを1台のパソコンで同時に使用しないでください。

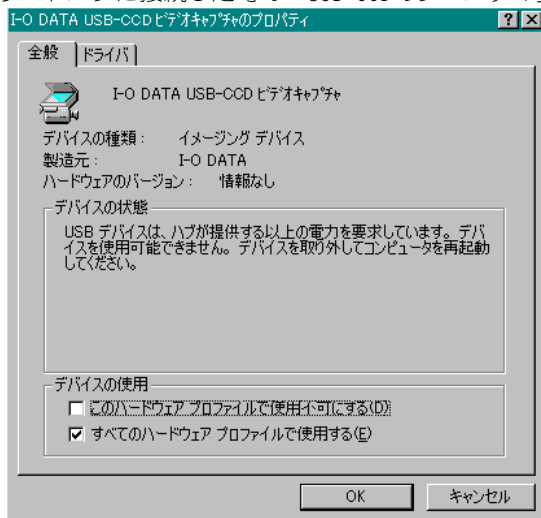
原因4

バスパワーハブに接続している。

対処

パソコン本体または、セルフパワーハブに接続し直してください。

例) バスパワーハブに接続した時の「USB-CCDのプロパティ」エラー画面

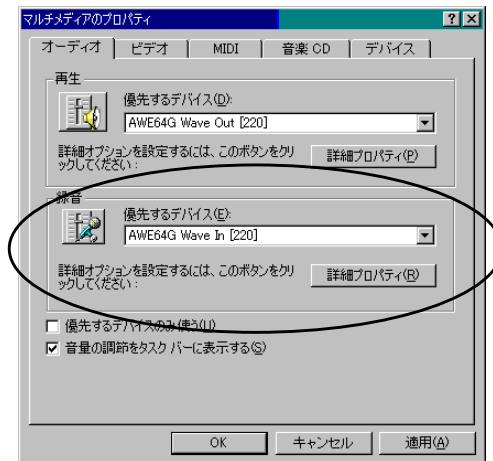


画面の表示がぎこちない（コマ落ちする）

- 原因** 表示設定がプレビューになっている。
- 対処** オーバーレイ表示にしてください。

音声を取り込めない

- 原因1** 取り付けが正しく行われていない。
- 対処** サウンドボード等の接続を再度確認してください。
- 原因2** Windows上での設定が正しくない。
- 対処** [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックし、[マルチメディア]アイコンをダブルクリックしてください。[オーディオ]タブで録音の設定が正しいか確認してください。
(設定の詳細は各サウンドボードの取扱説明書を参照してください。)



困った時には



参考

ボリュームの調整方法

[スタート] [プログラム] [アクセサリ] [エンターテインメント] [ボリュームコントロール]を選択してください。表示された画面で[オプション]メニューの[プロパティ]を選択します。表示された画面で[録音]をチェックし[OK] ボタンをクリックしてください。その後、[ライン入力]の[選択]をチェックし、ボリュームを調節してください。

ハードウェア仕様

準拠規格	USB Ver. 1.0
撮像素子	1/4インチCCD
有効画素数	25万画素 (512×492)
ビデオフォーマット	RGB16bit, RGB24bit, YUV422, YUV12
フレームレート※	30Fps※ (352×288 CIF SIZE)
フレームサイズ (動画)	352×288 ~ 80×60 (19段階)
フレームサイズ (静止画)	640×480 (静止画: エンハンス時のみ) 352×288 ~ 80×60 (19段階: エンハンス以外)
USB帯域幅	3.5Mbps~7.5Mbps (0.5Mbpsステップで選択)
輪郭補正	水平, 垂直
逆光補正	中央焦点
最低被写体照度	20Lux (F2.8)
感度調整機能	自動 (ESC)
ホワイトバランス	マニュアル方式
レンズ焦点距離, F値	f=3.3mm, F=2.8
レンズ画角	60度 (水平)
レンズ焦点	0mm~∞
コネクタ	Aプラグ
ケーブル長	1.26m
使用温度範囲	0℃~+40℃ (パソコンの動作する温度範囲であること)
使用湿度範囲	10%~85% (結露しないこと。パソコンの動作する湿度範囲であること)
電源電圧	DC5.0V (USBポートより供給)
消費電流	300mA (MAX)
サイズ	31×40×33.7 mm (レンズ, ケーブル, ホルダを除く)
質量	約70g (ホルダを除く)

※ 動作環境によりこのフレームレートが出ない場合があります。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号およびFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョンおよびメーカー名。
6. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージ等の内容)。

■オンライン

インターネット

<http://www.iodata.co.jp/support/>

■郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「USB-CCD」係 宛

■電話

電話番号	本社	076-260-3646
	東京	03-3254-1036
受け付け時間	9:30~19:00 月~金曜日(祝祭日を除く)	

■FAX

FAX番号	本社	076-260-3360
	東京	03-3254-9055
宛先	株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター「USB-CCD」係 宛	

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

保証について

■保証期間

- ・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
- ・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- ・本製品の使用によって生じた、データの消失および破損。
- ・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット <http://www.iodata.co.jp/> →「サポート・ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料および手数料はお客様負担）

住所 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-CCD」サービス窓口 宛

電話番号 076-260-3663

受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

- オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- 「Ulead VideoStudio 5 SE Basic」等、サービス品の添付ソフトウェアは当サービス対象外です。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいますようお願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
 - ◇保証書がない場合
 - ◇保証書の所定事項が未記入の場合
 - ◇誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
 - ◇落雷等の事故による破損の場合
 - ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-CCD」 修理係 宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口 「USB-CCD」 サービス窓口
電話番号 金沢 076-260-3663
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※ 申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。